

実践事例（3）

第5・6年生 国語科 ～ 一人一人が自ら学び、生き生きと活動する児童の育成 ～ 複式・小規模校の特性を活かして

1 はじめに

本校は全校児童16名（中・高学年が複式学級）、教職員7名の極小規模校である。素朴で素直な児童が多く、全校児童が力を合わせて仲良く学校生活を送っている。学校の教育目標「豊かな心を持ち、たくましく生きる田舎の子を育てる」をもとに、「進んで学習する子」「思いやりのある子」「ねばり強くやりぬく子」の育成を目指して教育活動に取り組んでいる。また、地域とのつながりが密接で、様々な行事や学習で関わり合い、家庭や地域が一体となって子どもの学力向上に取り組んでいる。

本校児童は、全体的に読む力や書く力、語彙力が十分ではない。また、考えや気持ちを自分の言葉で相手に伝えることが苦手な児童も多く見られる。そこで、様々な教育活動の中に伝え合う場を設定し、伝えるときにはねらいを明確にして相手意識・目的意識をしっかりとめさせて取り組ませるようにしている。表現方法を工夫したり、聞き手に分かりやすい言葉を考えたりすることにより、伝え合う楽しさを味わわせるようにしている。また、国語科の授業以外でも、多読賞を設定するなど読書活動を推進したり、朝のドリルタイムでの言語に関する課題学習や、全校朝の会でのスピーチに取り組んだりしている。

2 実践例

（1） 単元名

第 5 学 年	第 6 学 年
物語を読んで、自分の考えをまとめよう 「わらぐつの中の神様」	物語を読んで、考えを深めよう 「海の命」

（2） 単元の目標

第 5 学 年	第 6 学 年
○ 物語を読んで自分の考えをまとめる。	○ 物語を読んで自分の考えを深める。

（3） 身に付けさせたい力(指導目標)

第 5 学 年	第 6 学 年
○ 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉え、優れた叙情について自分の考えをまとめる。 ○ 書いたものを紹介し合い、自分の考えを広げたり深めたりする。	○ 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉え、優れた叙情について自分の考えをまとめる。 ○ 「海の命」を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりする。

○ 比喻や反復などの表現の工夫に気付く。

○ 比喻や反復などの表現の工夫に気付く。

(4) 指導計画 (第5年年全8時間 第6学年全8時間)

第5学年		第6学年	
時	学 習 活 動	時	学 習 活 動
1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 題名から想像したことを発表する。 ○ 全文を読み、「現在-過去-現在」の構成から物語のあらましを理解する。 ○ 読み取ったことを基に紹介文を書くという見通しをもつ。 	1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「物語を読み、人物の生き方について考えよう」という学習課題の下、読み取ったことを基に紹介文を書くという見通しをもつ。 ○ 「海の命」を通読し、書かれている内容をおおまかに捉える。
2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第一場面から第三場面までを読み、紹介文を書くことを想定し、次の点を捉える。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 物語の設定(時・場所・人物)、おばあちゃんとマサエのわらぐつに対する見方の違い ・ 作ったわらぐつに表れているおみつさんの人柄と、そのわらぐつへの見方に表れている大工さんの考え方や心の動き ・ マサエの変容と「現在-過去-現在」という構成の特色 ○ 作品に対する自分の考えを書き、まとめる。 	2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第一場面から第六場面までを読み、紹介文を書くことを想定し、次の点を捉える。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「父」の生き方 ・ 「与吉じいさ」の生き方と「太一」の成長 ・ 「母」の思い ・ 「太一」の考えの変化 ・ 六つの場面構成の効果 ○ 「太一」が「クエ」との遭遇をだれにも話さなかった理由について話し合う。
6	<ul style="list-style-type: none"> ○ 作品に対する自分の考えを書き、まとめる。 	6	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「太一」が「クエ」との遭遇をだれにも話さなかった理由について話し合う。
7	<ul style="list-style-type: none"> ○ 心に残る言葉、文章、情景や全体の構成を考え、物語の紹介文を書く。 (本時 7/8) 	7	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「父」・「与吉じいさ」・「太一」のそれぞれの生き方について自分の考えをまとめ、物語の紹介文を書く。 (本時 7/8)
8	<ul style="list-style-type: none"> ○ 書いた紹介文を交流し、感じ方の違いについて感想を交流し合う。 	8	<ul style="list-style-type: none"> ○ 書いた紹介文を交流し、友達の考え方や感じ方について意見交換をする。

(5) 単元の評価規準

第5学年	第6学年
<p>(関) 心に残る言葉、文章、情景や、全体の構成を楽しんで読もうとしている。</p> <p>(読) 会話や心情表現、行動を表す文に注目し登場人物同士の関係、人物像、場所、時、</p>	<p>(関) 自分の経験や体験と重ねながら、作品に描かれている登場人物のつながりや心情を読み取ろうとしている。</p> <p>(読) 地の文から情報を読み取るとともに、相</p>

<p>背景などを読み取っている。</p> <p>「構成」「人物像」「表現」などの観点から、ほかの作品との共通点や相違点を考え、感想をまとめている。</p> <p>交流して、友達の見方との共通点や相違点に気付いている。</p> <p>(言) 様々な表現の工夫があることを知り、その効果について意識している。</p>	<p>互の会話や行動の奥にある機微を捉えている。</p> <p>人物や出来事について、作者の考えを読み取り、自分の感想の理由をまとめている。</p> <p>交流することで、考えが広がり深まることを確かめている。</p> <p>(言) 様々な表現の工夫があることを知り、その効果について意識している。</p>
--	---

(6) 指導に当たって (複式・小規模校の特性を生かした指導)

第 5 学 年	第 6 学 年
<ul style="list-style-type: none"> ○ 5年生2名は、これまで「あめ玉」や「のどがかわいた」「百年後のふるさとを守る」「大造じいさんとガン」で、人物像を捉え、人物の関わり合い、関係の深まりを読む学習や人物の関係や心情を、特に情景描写から読むという学習を行ってきた。 ○ 本教材は、「現在-過去-現在」という額縁構造をとった作品であり、時間の行き来や、それに伴う場面の飛躍的な転換があるなど、これまでに児童が学習してきた物語とはひと味違ったおもしろさがある。額縁構造の効果は、第一場面（現在）と第二場面（過去）それぞれでの人物とその関係が、第三場面（現在）で重なり、驚きを生むところにも表れている。 <p>人物の性格やものの見方・考え方は、会話や行動からつかみややすく、それは作品のテーマと直接的に関わって、児童の心にまっすぐに向かってくる。人物の心情や情景を豊かに想像させ、題名でもある「わらぐつの中の神様」の意味を考えさせ、自分が感じたことを交流させながら自分の考えを深めさせたい。</p> ○ 本時は、これまでにワークシートにまとめた心に残る言葉（会話）や、文章、情景、登場人物の人柄から、自分の感じたことを発表させる。その後、作品に対する自分の考えを書き、物語の紹介文を書かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 6年生2名は、これまで登場人物の相互関係を捉える学習を繰り返し行ってきており、特に5年生「のどがかわいた」で中心的に学習している。6年生では「カレーライス」において、中心人物の心の揺れ動きに寄り添いながら、人物相互の関係や心情を読み取る学習を行った。 ○ 本教材は、主人公・太一の少年期から始まり、青年、壮年になるまでの生涯が、六つの場面構成で描かれている。場面展開のはっきりした構成であり、この構成を捉えることによって、作品の山場、主題を読み取ることができる。また、作品には、主人公の少年の生き方に影響を与える人物が複数登場する。彼らの言葉や行動などから心情を想像させるとともに、人物同士の相互の関係をつかませたい。 <p>また、作品を読むことを通して自分自身を見つめるとともに、そこで感じたこと・考えたことを交流し合うことで、自分の考えを更に深めさせたい。</p> ○ 本時は、登場人物それぞれの生き方・考え方についての自分の考えを発表させる。その後自分の考えをもとに紹介文を書かせる。
<p>物語単元を両学年で揃えて進めていくことにより、児童は違和感なく学習することができる。</p>	

間接指導において、児童が主体的に読み取れるために、わたる直前にワークシートを活用する。そして、学習内容や解決の手順を明確に伝えたり、学習状況を確実に見取ったりしながら、一人一人に応じた支援をしたい。

(7) 本時の指導

ア ねらい


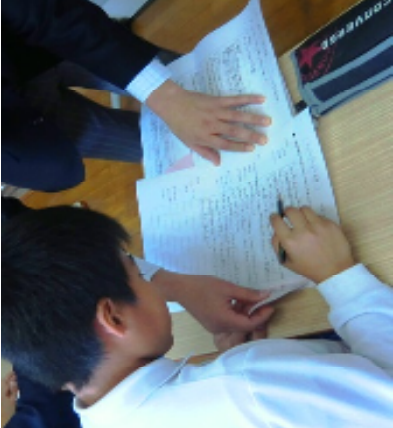


第 5 学 年	第 6 学 年
○ 読後感や作品に対する自分の考えや思いを基に紹介文を書くことができる。	○ 登場人物それぞれの生き方・考え方について自分の考えをまとめたり、読後感を生かしたりしながら紹介文を書くことができる。

イ 準備物

第 5 学 年	第 6 学 年
ワークシート・掲示用ワークシート 言葉のヒントカード	ワークシート・掲示用ワークシート 言葉のヒントカード

ウ 展開

第 5 学 年		第 6 学 年		
指導上の留意点 ○ 評価 ◎	学 習 活 動	わたり 直接指導	学 習 活 動	指導上の留意点 ○ 評価 ◎
	1 本時の学習課題を確認する。		1 本時の学習課題を確認する。	
	物語の紹介文を書こう		物語の紹介文を書こう	
○ 自分の考えをまとめたり、友達の考えを聞き自分の考えを練り直したりさせる。	2 一人学習でまとめた登場人物の相互関係や心情、場面の様子、表現の工夫について交流する。		2 一人学習してきたことをワークシートにまとめる。	○ 登場人物の生き方や考え方から、感じたことをワークシートに整理させる。
◎ 交流をもとに登場				

<p>人物の相互関係や心情、場面の様子、表現の工夫について考えている。</p> <p>○ 紹介文で必ず入れる事項を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品名 ・あらすじ、読後感 ・心に残る言葉、情景、表現の工夫等 ・自分の宝物 <p>◎ 作品に対する自分の考えや宝物を紹介しながら紹介文を書いている。</p>	<p>3 交流したことをもとに紹介文を書く。</p> 		<p>3 ワークシートにまとめたことを交流する。</p>	<p>◎ 自分の考えと同じ意見に共感したり、違う意見を認めたりすることで自分の考えを深めている。</p>
	<p>4 交流したことをもとに紹介文を書く。</p>			<p>○ 紹介文で必ず入れる事項を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品名、読後感 ・あらすじ ・登場人物の生き方 考え方から感じたこと 等 <p>◎ 登場人物それぞれの生き方・考え方について自分の考えをまとめ、紹介文を書いている。</p>
	<p>4 学習の振り返りを行う。</p>		<p>5 学習の振り返りを行う。</p>	 <p>【紹介文の発表】</p>

エ 授業評価の観点

- 効果的なわたりやずらしが行われているか。

